

経済安全保障重要技術育成プログラムの中間評価結果報告

経済安全保障重要技術育成プログラム / 先進的サイバー防御機能・分析能力強化

事業テーマ名
セキュアな量子情報通信技術の開発
事業者名
株式会社日立製作所
K プロ運用・評価指針の視点
<ul style="list-style-type: none">研究開発ビジョンの達成及び研究開発構想の実現に向けた研究開発課題の達成目標や内容の妥当性研究開発課題の達成目標に向けた進捗状況(国内外とも比較)及び今後の見通し(含む、多様な分野における活用の実現可能性)研究開発課題における実施体制の構築状況研究資金の効果的・効率的な活用国民との科学・技術対話に関する取組意見交換会において合意された内容の進捗状況
研究開発構想に定める達成目標
<ul style="list-style-type: none">QNSC(Y-00プロトコル)の高速・大容量化に向けた専用のデジタルコヒーレント方式を研究・開発し、論理検証機を試作開発し、実施検証による方式の確認と高速化(単一波長での目標20Gbps以上)への見通しを検証。QNSC(Y-00プロトコル)のDSPを開発し、Y-00変復調に適した新たに開発した専用DSPの機能を基本的な検証実験で確認する。また、光ワイヤレス伝送への応用の可能性を示す。
総合評価
B
総合コメント
<ul style="list-style-type: none">技術の受け手や用途を早期に明確化し、出口戦略を具体的に整理することが求められます。公的分野における技術進展に加え、将来的な民生展開に向けたコスト低減や技術的ブレイクスルーを視野に入れた検討が重要です。対外的な成果発表を積極的に行い、技術の認知度向上と外部連携の促進を図ることが望まれます。